

XX. スペイン

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○社会構造 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口：4,633 万人（2017 年 IMF 推計） ○経済環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人当たり GDP：26,643 ドル（2017 年 IMF 推計） ・ 実質 GDP 成長率：3.1%（2017 年 IMF 推計） ・ 1 ドル=0.84 ユーロ/1 ユーロ=134.94 円(2017/12/31) 	
2. 金融制度の概要	<p><金融制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○銀行等の業態分類（機関数、総資産シェア、根拠法）（2016 年 12 月末） <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の商業銀行（48、61%、Law on Management, Supervision and Solvency of Credit Institutions） ・ EU の外国銀行（77、N/A、同上） ・ その他外国銀行（5、0.2%、同上） ・ 貯蓄銀行（14、35%、Law on Savings Banks and Banking Foundations） ・ 信用協同組合銀行（43、4%、Law on Credit Cooperatives） ○監督官庁：スペイン銀行 ○預金保険制度：スペイン国内の銀行および本国にスペインと同等の制度のない国の外国銀行は預金保証基金への加盟が義務付けられている。預金保証額は 2008 年に 5 万ユーロから 10 万ユーロに引き上げられた。 ○金融税制 <p>預金による利子所得に対しては 19～23%の分離課税が適用される。配当所得、キャピタルゲインは 19～45%の総合所得課税が適用される。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○商業銀行のうち、サントンデール銀行とビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行の規模が大きく、二大商業銀行として知られている。

<p>3. 郵便貯金の概要</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国営郵便電信株式会社（コレオス）がドイツ銀行と協定を結び、1999年から金融サービスを提供、2006年4月からはバンコレオス（西語：Bancorreos）というブランド名で金融サービスを提供していた。 ・ ドイツ銀行側の事業戦略変更により、2016年3月にドイツ銀行とコレオスの協定は終了、2017年8月時点でバンコレオスに代わる金融サービスの受託者に関する正式な動きはない。 <p>○バンコレオスの拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約2,000あるコレオスの店舗・ATMおよび、スペイン国内外のドイツ銀行の支店・ATMなどを通してサービスを利用できた。 <p>○取扱業務</p> <p>預金業務、資金運用業務、貸付業務等を提供。送金サービスはコレオスが担当していた。</p>	<p>○バンコレオスによる利益はコレオスとドイツ銀行で50%ずつ折半されていた。</p> <p>○送金サービスはコレオスが独自で提供するサービスと、ウェスタン・ユニオンとの協定によるサービスの2種類がある。</p> <p>○バンコレオスに代わる金融サービスについて、コレオスはスペインやヨーロッパ内の銀行各行と交渉中であると報道されている。</p>
<p>4. 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴</p>	<p>○個人金融資産（2016年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総額：2兆511万ユーロ ・ 現金・預金：42% ・ 投資信託：13% ・ 出資金：18% <p>○リテール金融機関は大きな役割を果たしている。銀行セクターでの預金シェアは貯蓄銀行が40%、信用協同組合は6%である（2016年12月末）。</p>	
<p>5. 最近の金融動向と今後の動向</p>	<p>○銀行セクターの再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯蓄銀行：複数あった業務を切り離し、新たに商業銀行を設立。合併併合も進められ、2009年で45行あった貯蓄銀行は2016年12月末には12行まで減少した。 	